

1にも、2にも、… 免疫力

明けても暮れても ♪ コロナ・コロナで半年暮らしゃ、後の半年や何して暮らす ♪ ヨイヨイ！てなもんで、今年は武漢ウイルスに散々ばら翻弄され、未だに収束の目処すら立っていない状況です。本来ならば、1にも、2にも、健康第一というべき処だが、日本では、やれ自粛だ！マスクだ！3密禁止だ！と、社会・経済状態まで不健康にしている。

ハードなテクニカルを駆使して新型ウイルスを作り出した(公算が濃厚とされている)が、ソフトなマネージメントが杜撰であつては、漏洩しても隠蔽するしかない。かつて、新幹線脱線事故が起こった時、事故原因調査をする前に穴を掘って車体ごと埋めようとした漫画のような事件が思い起こされる。そういう国だと云ってしまえばそれまでだが、これでは米国には勝てない。

前提として、15年ほど前に、『くつろぎのいおり候補地』探しの旅で、中国各地の温泉地を歩き回っていた。今、長江(揚子江)大洪水で大変な状態になっている四川省の成都や安徽省の長江沿いの銅陵市という日本人がほとんど行かない街から、中国三名山と云われる黄山まで足を延ばした。海南省の最南端の三亜周辺の温泉地も見に行った。先ず驚いたのが、どこに行っても溢れ返るほどの人の数だった。日本の10倍の人口を実感した。極貧農家出身の案内人(正式ガイドではない)は、私の行きたい所、見たい所を躊躇なく案内してくれたから、彼の家にも行ってみた。村中人糞のにおいが漂う田舎だった。化学肥料など買えないくらい貧しそうな村だから、人糞を肥しとして有機栽培をやっていたようだ。



成都駅夜行列車

先だって、李克強副主席が中国の6億人の人民の月額所得が1000元(15,000円=貧困層)だと発表し、「2020年までには中国人民は豊かになる！」とぶち上げた習近平主席のメンツを潰したと話題になりましたが、私が中国視察旅行をやっていた当時はその半分か、それ以下だったでしょう。ちなみに、私は1週間の中国滞在費・交通費・飲食代・案内料等全て込みで、1万元(当時のレートで18万円位=現地感覚では100万円位)でお願いしていました。

四川省成都までは、私は飛行機でしたが、彼は3泊4日の列車で来て、案内してくれました。

13億人とも、それ以上とも云われている中国人の内、9千万人の共産党員が12億人以上の人民を牛耳っているのは周知の通りで、人民の9割近くが共産党嫌いだと云うも同様のようで、案内人をしてくれた彼や彼の親戚の人たちも、公安や共産党・党員を極端に忌み嫌っていた。「日本人は信用できるが、中国人は信用できない」と、何度も言っていました。理由は簡単で、「日本人は時間と約束を必ず守るが、中国人は必ず守らない、守らなくても決して謝らない…」これらの会話は片言の中国語と片言の日本語ですから、会話で足りない部分は、漢字筆談で意思疎通していました。書いたメモはその都度細かく刻んでトイレに流していました。

慎重な現地人の彼でさえも、薬草の行商人の口車に乗せられてコロッと騙される現場を目撃してからは、油断ならない国だと認識した事もあります。

免疫力と云えば、ウイルスなどの病原菌に対抗する生物。生理学的なものだと直感しますが、40年余りすっかり騙され、良いように弄ばれ、むしり盗られた事に気が付いた米国のトランプ大統領の、中共潰し戦略も、免疫力強化を図りつつのウイルス撃退策であると云えるでしょう。



ストレスの及ぼす健康障害は、Pm2.5煙害による呼吸困難と食欲不振、体力消耗に加え精神的ストレスの加重によってもたらされる事を、実体験からして納得しています。諸症状に対しては、適切な投薬(医師の指示する投薬)に加え、体力の回復策、精神的な安定策は、自らやるしかありません。ウイルスにしても、Pm2.5にしても、なくなれと云ってもなくなりません。根絶しても新しいウイルスが登場するでしょうし、Pm2.5発生地からも逃げられません。それなら、指をくわえてワクチンを待っている前に、免疫力を強化する事が先です。



今回の武漢ウイルスワクチンが出来たところで、万全ではないと云う事です。今までにも色々なワクチンが出来ていますが、皆が皆ワクチン接種をしているかと云えば、必ずしもそうではないでしょう。用心深い人と、体力に自信がない、病気に抵抗力がない、既往症がある等の人が摂取し、多くの人はその都度ワクチン接種はしないでしょう。

中医に関する動画ですが、参考になると思いますのでご覧ください。1にも2にも免疫力です。

<https://www.youtube.com/watch?v=6RjnpudcdQc>
<https://www.youtube.com/watch?v=KJXINQHeMCo>

既病を治すのではなく、未病を治す
緊急時に使える鍼灸の経穴

もっと、もっと…と

これでもか！これでもか！！と、襲い掛かって来る人災・天災に、神仏を信じないと云われている中国人でさえも「天罰が下っている」と言い始めた。前号で中国人民と中国共産党員は分けて見て置く必要があると記述したが、米国はもっと端的に「人民は党員に迫害されている人たちで、迫害している共産党と党員は敵だ」と断言している。

このロジックはどこかで聞いた気がしませんか？第二次世界大戦で敗北を喫したナチスドイツ軍とドイツ国民とは別者として、ドイツ軍将校を裁いたニュールンベルク裁判。大日本帝国の大本営将校のトップをA級戦犯として裁いた東京裁判。共に国益と国の存亡を賭けた戦争であり、直接間接を問わず、国民がこぞって参戦し戦った結果、敗北した国が一方的に犯罪国となり、国民には自虐史観を植え付けられ、戦勝国の犯罪は全く裁かれないリンチだった。

特に悪辣だったのは、終戦時のソ連の傍若無人な殺戮・米兵による強姦など枚挙に暇がない程の犯罪が記録されていても、裁かれていない。朝鮮半島人は日本統治時代日本国民だった事から、戦勝国でも戦勝国民でもないのに、独立を勝ち取った錯覚に陥ったまま現在に至って虚構の優越感に浸っている。日本のA級戦犯は、全員冤罪であり無罪であると確信している。

自国民や侵略した地域住民の人権を無視して、生殺与奪の権力を振り回している中国共産党の有り様、拝金主義に憑りつかれて、信じられないほどの個人資産を蓄財している共産党幹部侵略によって拡大していく事を是として、国際法も協定も無視し、手段を選ばず侵食の手を広げている中国共産党の有り様は、自由主義社会からは到底容認できるものではない。



中国産 梅山豚
豚は太らせてから喰え

この事によりやく目覚めた米国と、未だに寝惚け続けている日本との温度差は激しく異なる。前項で述べた内的免疫力アップのために、中共ウイルスの実態をこれでもか、これでもかと云う位動画でご理解いただきたい。(疲れたら、休み休みでもご覧ください)

- <https://www.youtube.com/watch?v=ZZbjHYNE2jg>
- <https://www.youtube.com/watch?v=sfVxB-gehZU>
- <https://www.youtube.com/watch?v=-QrB1J60uyw>
- <https://www.youtube.com/watch?v=lo1E0pVJ0K8>
- <https://www.youtube.com/watch?v=U3Oj1BLJgK0>

中共はなぜ、閻麗夢氏を恐れているのか？
閻麗夢博士のインタビュー
レベル4実験室は…
陳情者らを取り締
中国共産党は政治ゾンビ・マフィア政党

- <https://www.youtube.com/watch?v=uJeB3IDPvM>
- <https://www.youtube.com/watch?v=mMhBdSXQGZl>
- <https://www.youtube.com/watch?v=izbDQ4YUe1Q>

習近平総書記の北戴河危機
習近平、栗戦書の親族らの海外資産
江沢民家族が 国から窃盗した資産

中共ウイルスは、武漢ウイルスの比ではないと云う事がよくお分かり頂けましたでしょうか？9000万余のウイルス菌が中国人民の健康を害し、蝕んでいるという事と同時に、善良な外国企業を取り込んで、技術と収益を丸ごと飲み込んでしまうという荒業まで、平気でこなしているという話も枚挙に暇がありません。

この片棒を担いでいるのが、経団連であり、日中議員連盟であり、これにつながる団体だと云われていますが、すべからく、これらの太鼓持ち達は誘致・勧誘はしても、一切の責任は取りませんから、個人でも企業でも外地を踏んだら全て自己責任で処理しなければなりません。無辜の人でも目を付けられたら難癖をつけられ、簡単にしょつ引かれる国ですから、それこそ『詐欺師を騙して身ぐるみはぎ取る』能力と胆力がなかったら、『君子危うきに近寄らず』が、最良の防御策でしょう。(国交があるうちに逃げ帰って来るか、決して行かない事です)

米中冷戦が熱戦に転換する前に、米国側から奥の手の金融制裁が最終局面になるでしょう。日本も中途半端な対応をいつまでも続けていられず、米側・中国側のいずれかに付く態度を明らかにせざるを得なくなるでしょう。そこで重要な動画をご覧くださいのです。

https://www.youtube.com/watch?v=pVWeQzwnx_o 対中制裁の抜け穴



オケラ虫

中共ウイルスの頂点で権力闘争が起こっているというニュースもネットで報道されていますが、四面楚歌になりながらも、全権を掌握し続けようと虚勢を張っている習近平と、そのメンツを真つ向から潰しにかかっている李克強との対立を見据えて、米国政府は中共と云う体制自体を崩壊させようと企てているのは周知の事実です。

『豚は太らせてから喰え』はユダヤの諺だそうですが、不正蓄財で太り過ぎた豚を屠殺し捲っている屠殺人本人が、不正蓄財を海外に貯め込んでいる事まで明るみに出してしまう、それを米国他の金融機関が凍結準備に入っているとの事でもあります。悪銭身に付かずで、丸裸にされた大富豪の姿も見られるかも知れません。これをタイ語では「ソンナンナー」と云います。洪水の被害が甚大で、食糧難は必至です。やはり天罰としか言いようがありません。

<https://www.youtube.com/watch?v=swADn9QHtts> 四川の洪水が…

知者と愚者

『知者は愚者に学び、愚者は知者に学ばず』や『愚者は経験に学び、賢者は歴史に学ぶ』と云う言葉があるが、知識人と云われている人達の非常識な見解や知識に学ぶ処はないし、捏造された歴史に騙され、翻弄されるのもいい加減にしておかないと、益々世界の潮流から遠ざかって、『愚者の国』の汚名に甘んじなければならなくなる。

8月15日は終戦記念日で、恒例となった全国戦没者慰霊祭が武道館で執り行われ、NHKの中継に合わせてチェンマイでも慰霊祭が総領事も出席され、催された。国歌斉唱ではなく国歌演奏になったり、武漢ウイルス感染拡大(タイ国及びチェンマイでは、感染者0の日が72日間継続・現在も継続中との事)の影響から天皇・皇后両陛下はじめ参列者全員がマスク着用(チェンマイ会場も同様でした)といった、異様な雰囲気の中で式典は行われた。

チェンマイでの慰霊祭は、主にインパール作戦で亡くなられた将兵の英霊を慰霊することが主目的であるものの、(タイ人・日本人ほぼ同数の)参加者の殆どは、英霊とは縁もゆかりもない人達ばかりだという処がすばらしい。映画クーカムで感動し、大の日本人びいきになり、日本人の催し物には必ず軍服で参加する通称コボリ君は、今年も参加されていました。

今、生きてあることの感謝を先人・英霊に尊崇の念をもって慰霊できるのは今、生きてある者しかできない事だし、すべき事だと思う。オバマ政権当時米国政府から靖国参拝を非難され、中共・韓国からも批判され、ビビリまくって参拝しなくなった首相の信念は、軟弱でしかない。「痛恨の極み」「断腸の思い」等、口ほどに思っていない証拠であるから、今後も参拝の必要はない。首相の座を降りてから行くだろうが、我々同様、普通の参拝者の一人に過ぎない。



通称 コボリ君



本誌で、何度か紹介していますが、慰霊祭の行われるムーンサーン寺院の一角は、戦時中野戦病院として使われ、その建物の中に当時の写真や遺品などを展示して今は資料館となっています。

この資料は故チュウチャイ・チョムタワット氏が収集したもので、当初メーホンソン県のクンユアムに創設した戦争博物館から持って来られたものと云われています。正しい歴史認識を、現地のタイ人が知っていて当の日本人が知らないでは恥ずかしい限りです。



突然の安倍首相の辞意表明を、皆様はどのように受け止めておられるでしょうか？次期総理総裁は、菅氏になりそうですが、米中冷戦真只中の交代劇で、米側に付くか中共側に付くか、二者択一をどう裁くのか両方いい顔を続けることはできないのが現状です。

米国大統領選の結果待ちで、握り拳を振り上げられないのが現政権と政府の態度のように感じます。此処に至ってまで、習近平の国賓来日の取り止め、オリンピックの辞退表明も決断できないで、明るい未来も、日本を取り戻すこともできないでしょう。取り返しのつかない日本づくりを推進して来た菅氏ですから、次の総選挙までは現状のまま事なかれ主義に徹し、既成事実は容認し、国民の不満はなし崩していくでしょう。

自民党の過半数の議員は親中派だとも云われていて、トランプ大統領が当選し、はっきりと踏み絵を突き付けられた時、親中派は一斉に反中派に手のひら返しするのでしょうか？手のひら返しをして、もみ手をしながらすり寄って来る人間ほど、信用できない者はいません。

政・財・官をはじめ殆どの人間は、それで出世(世渡り)して来ていますから、確固たる信念やビジョンを持たない者が、如何に偉そうな立場・肩書・経歴を持っていようと、話を聞く気にもならなければ、聞くにも堪えません。

ですから、国の命運を任せる菅氏の確固たる信念と、ビジョンが何であるかをしっかりと見極めて頂きたいと思います。試金石となるのは靖国参拝でしょう。国のため、家族のため、戦場に赴き、思いを残しながら帰らぬ人となった英霊は、それこそ死んで国防に尽くしてくれた人々で、宗教・思想・信条に関わりなく、尊崇の念をもって慰霊しなければならないのは、日本国の命運を任された者として、当然の行動でなければならないという信念をもって行動するか？しないかを見定めたいと思います。(恐らくしないだろうと思いますが、試金石です)

デフレ経済下での2度の過ちによって、更なる不況に陥った日本経済を復興させるためには、財務省の緊縮財政政策を180度転換させ、拡大財政政策を打ち出し、P/B黒字化予算編成廃止の方向性(ビジョン)を打ち出す以外に方法はありません。信念もビジョンも待たずダラダラ遣ってなし崩しばかりしていた前任者と同様であったら、国も国民も救われませんから、この点を注視していきたいと思っています。世の中は、信じられない事が幾らでも起こるものです。国民に信じられないほどの幸運をもたらすか否か、菅氏の手腕と以下の動画をご覧ください。



<https://www.youtube.com/watch?v=Wjn0qhmEXos> 信じるか信じないかはあなた次第!

三人寄れば…

文殊の知恵の本来の意味は、『凡人でも三人寄れば文殊の知恵がでる…』という意味ですが、前号に掲載したSONYの三人の創業者(井深大・盛田昭夫・岩間和夫)は、凡人処か独創的なアイデアと探究心・行動力を持った傑出した方々です。及ばずと云えども、起業・創業を志す者は、この三要素なくしては、為るものも成らない。

七人の侍プロジェクトは、三人処か七人揃えば百人力というパワフルゲームを展開しようと思っています。「何？ゲーム！…」「仕事じゃなくて、ゲームか！」と、早とちりしないで下さい。趣味は仕事と云う話は以前しました。その意味でのゲームです。ホビーも趣味ですがゲームとは違いますね。ゲームは時として勝ち負け(損得)が生じます。いくら勝ちたくても、番付表の力士が全員勝ち越しと云う事はありません。勝ちがあれば、相手は負けです。勝ち星を増やし、勝ち越しを続けたければ、ひたすら稽古を積む以外に方法はないでしょう。

いくらプロセールスマン(Topセールス)であっても、一人で全社の売り上げを上げる事はできません。枯れ木も山の賑わい程度の売り上げしか上げられないセールスマンの、合計売上の方がTopセールスマンの売り上げより多いのが、一般的な販売会社の実績でしょう。そこで必要なのが、セールスマネージメントであり、マーケティングマネージメントとなります。

「ようやく管理社会から引退したのに、またマネージされるのかヨ！」と尻込みしては何も始まりません。マネージされるのが嫌なら、マネージする側に立てばいい、という発想に転換しましょう。そうです、昔取った杵柄を發揮すればいいんです。



チェンマイに移住して、二度三度死に損なったクソ爺が、ヨロヨロしながらでも未だ新しい事業をやる元気だけは温存しているのですから、現状を打破して、より健康に、より豊かになる権利を自ら放棄する事はありません。本誌も創刊(2011年2月)してから、もうじき10年になんなんとしています。お気づきの事かと思いますが、一貫して『チェンマイにいらっしやい』ですが、話の続きは、しりとりゲームの様に前号の関連記事と、時々トピック・外から見た日本の現状(評論)となっています。

上司もいなければ、権力に抑圧もされていませんから、好き勝手なことを云いたい放題云い、ヒンシュクを買っても止めない頑固さで続けています。出張族、通勤族を長くやっていた事もあって、一人で過ごしていても孤独感はありません。静かにのんびりと過ごしてもいます。三か月後くらいに、また引っ越すかも知れません。プロジェクト第三弾『生涯居住権』の先取り実験(新築住宅への移転)をやろうと思っているからです。詳細などは追って特集を組みます。

話を戻して…、常々現状を打破して、より健康に、より豊かになりたいと思っているだけでは、絵に描いたモチに終わるだけで、実現する事はない。本当にそう思うなら、その気になって、どうしたら実現させられるかを考え、実行するしかない！で実行して来て現在に至っています。

七人の侍プロジェクトの成否はこの一点にあります。年金・所得売上倍増計画にしても、同様で、高々10万/15万/20万円の年金を倍にする事に、二の足を踏んでいたら、決して倍増できません。三倍増を10年かけてやるには何をどうするか？答えは簡単！なのにやらない。

やる気のない人にいくら話しても無駄な時間と費用が掛かるだけだから、話さないし教えない。と云うのも…残酷だから、少しだけ話そう。読者諸兄には、耳にタコができるくらい繰り返して来ました(これが本誌の特徴)から、またかと思われるでしょうが、『コロンブスの卵』です。



売れる商品を欲しい人に販売する。売れる商品かどうかは、実際に自分自身で使って試して見なければ納得がいきません。どうしても欲しい人は、高い安いより必要だから買うのです。どうしても必要だという人は、周りにいくらでも居ます。必要ない人、欲しいと思わない人にはいくら説明しても説得しても買いません。無駄な時間を浪費しないで必要な人、欲しいと思っている人にアプローチしましょう。(顧客のニーズに合った商品であるかどうかPointです)

その商品を10万円仕入れて20万円で販売すれば、10万円の粗利が稼げます。経費率を50%に抑えれば、5万円の利益が出ます。徐々に販売件数が増えてくれば、リピーターも出てくるし紹介客も出て来ます。販売する人が自分で試して自信をもって販売するのですから、オーバートークをしなくても、顧客のニーズをじっくり聞く余裕が出来、説得力をもって勧められます。顧客が欲しかった商品が見つかったら、顧客は買いたい気持ちになり、購入するという自然な消費行動をとるのは誰でも同じです。枯れ木も山の賑わいセールスマンであっても、何かを買う時の動機を振り返ってみればセールスのPointがつかめます。

最後に、気分転換を図る動画をご覧ください、これからの大変革時代に備えましょう。

<https://www.youtube.com/watch?v=mDyqKTjnJLU>

微笑みの国??タイ

<https://www.youtube.com/watch?v=CscC6mkUwV8>

中国人女性に対する偏見